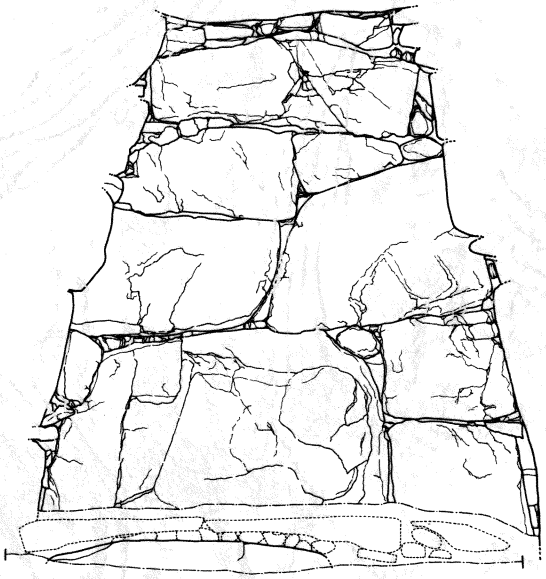
観音寺市内遺跡詳細分布調査報告書

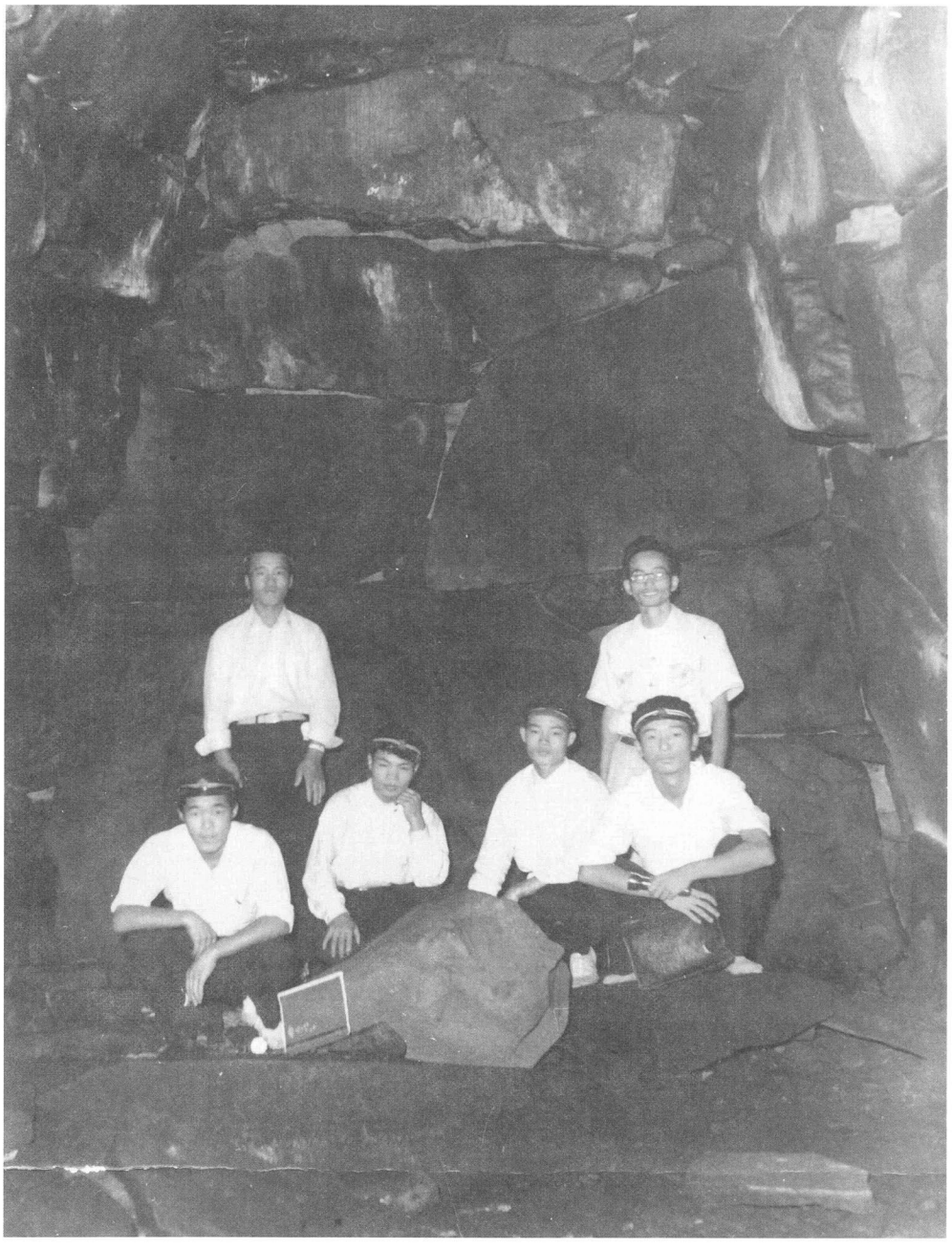
― 大 野 原 町 編 ―

２００８．３

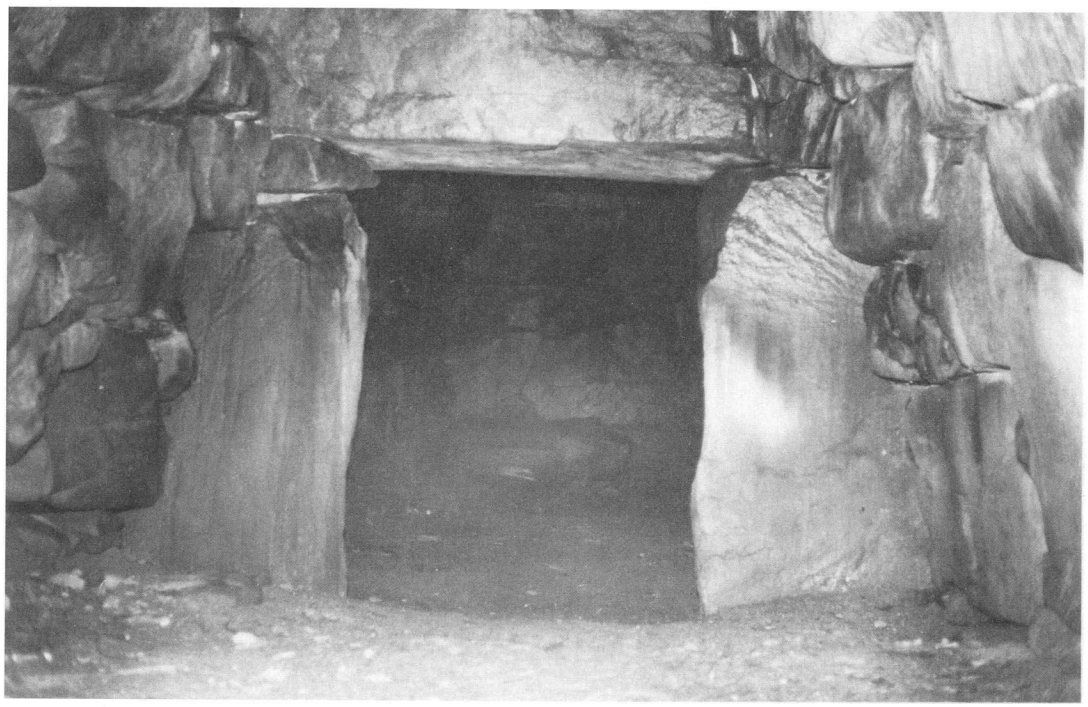
香川県指定史跡 椀貸塚古墳 横穴式石室「奥壁」実測図



観音寺市教育委員会



椀貸塚古墳石室内部写真（昭和２８年１０月４日撮影）



椀貸塚古墳石室（前室・玄門部）

例　　言

１．本書は、平成１９年度において観音寺市教育委員会が埋蔵文化財調査事業として実施した観音寺市大野原町内の詳細分布調査の報告書である。

２．本調査では重点調査地区として香川県指定史跡椀貸塚古墳を対象とした。

３．分布調査の実施、本書の執筆・編集及び重点調査地区の椀貸塚古墳の石室実測・墳丘測量は、観音寺市教育委員会事務局　生涯学習課　文化振興係　主査　久保田昇三が担当した。

４．挿図の一部に、「観音寺市都市計画図２（1/10,000）」を使用した。図面の方位はすべて磁針方位で示した。また、実測図の縮尺はすべてスケールで表示した。

５．図面・写真等は観音寺市教育委員会事務局生涯学習課で保管している。

６．本事業の実施にあたっては、大野原八幡神社　宮司　柘植宗尚氏をはじめ神社関係の皆様に格別のご理解ご協力を頂いた。また、墳丘測量調査に携わった観音寺市シルバー人材センターの牧野巧氏、荻田公一郎氏、松岡豊史氏にご協力を頂いた。記して謝意を表する。

７．本書の執筆にあたっては、高瀬要一氏、丹羽佑一氏、大久保徹也氏、菱田哲郎氏、守谷貞和氏、横山照美氏、森格也氏、信里芳紀氏、乗松信也氏、森下英治氏、太田匠園　太田文雄氏の助言・協力を得たので記して謝意を表する。

目　次

巻頭グラビア・例言・目次

頁

１．調査地区の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１

２．詳細分布調査の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１

３．大野原町の遺跡一覧表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２

４．大野原町の遺跡地図　（１：１０，０００）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６
　（１）花稲・十三塚周辺
　（２）宮ノ下・大鞘・萩原・東村・安井・青岡周辺
　（３）萩原・福田原・丸井・赤岡周辺
　（４）石砂・豆塚・高尾周辺
　※方位は、地図上部が北を示す。

５．重点調査地区（椀貸塚古墳）の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０

６．椀貸塚古墳周辺地形測量図（S=1/400）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１

７．椀貸塚古墳石室実測図　（１）～（２）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２

８．調査地区内の遺跡写真・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１４
　・椀貸塚、岩倉塚、平塚、角塚、観音堂古墳、四角塚、赤岡山古墳、
　　頂懸神社、菅原神社古墳(仮称)、将賢塚、王塚、竜王山古墳

９．報告書抄録・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１８

１．調査地区の概要

今回の分布調査の対象とした大野原町は、昭和３０年に大野原村（大野原、花稲）、中姫村、五郷村（井関、海老済、内野々、有木、田野々）、萩原村、紀伊村（丸井、福田原、青岡）が合併し大野原町となり、平成１７年に平成の大合併で観音寺市と合併した地域である。平成１７年２月に発行された大野原町誌によれば、面積 51.66 平方 km、人口 12,799 人で、土地利用の割合は山林 40.7%、水田 17.3%、畑 10.4%、宅地 5.9%などで豊かな田園地帯が広がるレタスやタマネギ等の農業の盛んな地域である。

大野原町の平野部は讃岐山脈から流れ出る柞田川が形成した扇状地がその大部分を占めている。この扇状地と周辺の山麓部に古墳をはじめ多くの遺跡が営まれていたのであるが、いつの頃か大野原の中心部はその名が示すように原野となってしまったようである。江戸期以後、平田氏の開墾がはじまって以後、寛延年間には大野原村で１７０基の古墳が残存していたともいわれていることから、古墳時代が終わった頃から江戸期までの約９００年間手付かずになっていたのかもしれない。

大野原町といえば古墳が多いというイメージではあるが、平岡遺跡群や中姫遺跡などの弥生時代の遺跡も営まれており、今後、弥生時代の遺跡が発見されることが期待される。

古墳時代の遺跡については、前期古墳は現在確認されておらず、中期古墳についても赤岡山３号墳（県史跡：円墳）が確認されている程度である。古墳時代後期の６世紀後半から７世紀中葉にかけては椀貸塚（県史跡：円墳）、岩倉塚、平塚（県史跡：円墳）、角塚（県史跡：方墳）などの讃岐国を代表する大型の横穴式石室を有する古墳をはじめ、周辺の丸井・福田原（平岡古墳群・縁塚古墳群）、萩原（王塚）、中姫（小森塚・道下１～２号・立石・神田）、花稲（埴穴塚）地区にも多くの古墳が爆発的に築造されている。現存するものや存在した記録等を調べただけでもその総計は 70 基ある。寛延年間の 170 基という記録についてもあながち大げさな数字ではないことがいえる。

また、青岡地区には青岡大寺又は安井廃寺といわれる古代寺院の存在がある。古代瓦が頂懸神社付近から出土しており、同地域が寺跡と推定されている。大野原三大古墳の次の時代に造営された寺院であり、また、位置的にも三大古墳と母神山古墳群の中間に存在していることから、本地域の古代史を考察する上で鍵を握る重要な遺跡である。

２．詳細分布調査の概要

遺跡の分布調査は、開発行為等から埋蔵文化財を護るためには必要な調査であり、埋蔵文化財保護行政の基本であることから、これまで未実施であった旧大野原町地区について取組んだ。

まず旧大野原町時代の遺跡台帳、発掘調査報告書、町誌等の文献の確認から作業を開始した。文献資料から遺跡のリストアップ（大野原町の遺跡一覧表）を行った後、現地確認を行い遺跡の存否や正確な位置確認、場合によっては規模等の略測を行い、観音寺都市計画図（1:10,000）を利用して遺跡地図を作成した。なお、現地確認の際、遺跡一覧表以外のものを確認した場合や遺跡として可能性のあるものは、遺跡一覧表に追加している。

また、開発等で発掘調査を行い記録保存しているものや過去に破壊されその存在のみ知られる遺跡についても、現在は存在しないが遺跡一覧表・遺跡地図にはその概要や位置を可能な範囲で示している。

なお、大野原町全体の分布調査を実施するなかで、遺跡の重要性や個々の資料の整備状況を勘案し重点調査地区として椀貸塚古墳周辺を設定し、土地所有者である大野原八幡神社のご理解ご協力を頂き椀貸塚の石室実測と墳丘測量を実施した。（詳細については 10 頁以降を参照）

なお、今回作成した一覧表には「詳細不明」や「不詳」の欄が多く必ずしも充分なものであるとは言えない点がある。今後においても、文献の調査や現地確認や聞き取り調査等を重ね資料の充実を図りたい。

大野原町の遺跡一覧表

番号	名称	所在地	種類	時代	時期	内容・規模・特徴	現存の有無等
1	瀬後経塚	大野原町大野原瀬後	経塚	不詳	不詳	詳細不明、現状は荒神社境内	現存しない
2	豆塚　1号墳	大野原町大野原字豆塚6741－2 (標柱有)	古墳	古墳	後期？	詳細不明、戦時中開墾、石材は八幡神社に移動	現存しない
3	豆塚　2号墳	大野原町大野原字豆塚6933(小字鷲の首)	古墳	古墳	後期？	墳丘(東西5×南北8m、高さ2. 4m)　横穴式石室？ S48. 5. 5道路拡張工事のため発掘済	現存しない
4	豆塚　3号墳	大野原町大野原字豆塚	古墳	古墳	後期？	方墳？東西13m(現況)、南北16. 5m(現況)、明治末～大正初期に発掘	現存
92	豆塚　4号墳	大野原町大野原字豆塚	古墳	古墳	後期？	詳細不明	一部現存
93	豆塚　5号墳	大野原町大野原字豆塚	古墳	古墳	不詳	詳細不明	一部現存
5	若宮(石砂)古墳	大野原町大野原石砂6433	古墳	古墳	後期？	詳細不明(若宮社であったが払い下げにより開墾)	現存しない
6	椀貸塚古墳 (香川県指定史跡)	大野原町大野原1913番地1 (大野原八幡神社境内)	古墳	古墳	後期 6c末～7c初	円墳　横穴式石室(複室構造) 石室全長(現存長)12. 1m 前室袖石長0. 72m　前室長3. 49m　玄門部長1. 09m　玄室長6. 8m 石室幅 前室袖石1. 11m　前室最大幅2. 5m　玄門幅1. 28m　玄室最大幅3. 64m 石室高 前室高2. 15m(現況)　玄室高3. 86m(現況) 墳丘直径約36m 周溝有	現存
7	岩倉塚古墳	大野原町大野原1883番地 (慈雲寺境内)	古墳	古墳	後期 TK209併行期 6c末	円墳(直径約20m以上)　横穴式石室 玄室長4. 5m以上　玄室幅2. 3m　玄室高2. 9m 羨道部不明	現存
8	平塚古墳 (香川県指定史跡)	大野原町大野原1533番地(大鞘)	古墳	古墳	後期 7c前半？	円墳　横穴式石室 石室全長12. 64m(現存長)(左側壁実測値) 玄室長5. 96m　玄門部長0. 96(左側壁実測値) 石室幅 玄室奥壁幅2. 7m(現況) 石室高 玄室奥壁2. 31m(現況)　玄室玄門側2. 5m(現況) 墳丘直径約52m 周溝有(二重周溝？)	現存
9	角塚古墳 (香川県指定史跡)	大野原町大野原1681(宮之下)	古墳	古墳	後期 7c中葉？	方墳(一辺43m)　横穴式石室 石室全長10m　玄室長(玄門部含む)5. 4m 玄室幅2. 5m　玄室高2. 3m 周溝有	現存
10	観音堂古墳	大野原町大野原2029(辻北)	古墳	古墳	不詳	詳細不明　円墳？　南北25m×東西29m　周囲との比高差約2m 石室石材と思われるものが石垣等に転用されている	現存
11	四角塚古墳	大野原町大野原1767(宮之下)	古墳	古墳	不詳	詳細不明　方墳？　15m×14m　周囲との比高差約1m 角塚に近接　五社大明神を祀る　石室石材と考えるものが残されている。	現存 (大きく改変)
12	町役場南側古墳	大野原町大野原1263－1(小字辻南)	古墳	古墳	不詳	詳細不明 巨石が二個並行して出土。	現存しない
13	十三塚	大野原町大野原字十三塚	不詳	不詳	不詳	詳細不明(柞田村境にあり、S37頃10基残っていた。)	現存しない
14	大将塚	大野原町大野原	不詳	不詳	不詳	詳細不明(古石塔？)	不詳
15	吉塚古墳	大野原町大野原杉林	不詳	不詳	不詳	詳細不明	現存しない
16	猫塚	大野原町大野原残水	不詳	不詳	不詳	詳細不明	不詳
17	弁天塚	大野原町大野原残水	不詳	不詳	不詳	詳細不明　周囲約30m、高さ2～3m	不詳
18	三反田	大野原町大野原	不詳	不詳	不詳	詳細不明　条里制の遺跡？	不詳
19	平田家住居跡	大野原町大野原	屋敷跡	江戸		平田氏の屋敷跡、江戸期	現存
20	赤岡山古墳群　1号墳	大野原町中姫赤岡38－5	古墳	古墳	後期？	詳細不明　横穴式石室？　開墾済	不詳
21	赤岡山古墳群　2号墳	大野原町中姫赤岡38－5	古墳	古墳	後期？	詳細不明　横穴式石室？　開墾済	不詳
22	赤岡山古墳群　3号墳 (香川県指定史跡)	大野原町中姫赤岡38－5	古墳	古墳	中期 5c後半	円墳(直径24m)　墳丘高3. 5m 竪穴式石室　石室長1. 45m　石室幅0. 45m	現存
23	赤岡山古墳群　4号墳	大野原町中姫赤岡87－9	古墳	古墳	後期？	詳細不明　横穴式石室？　開墾済	不詳
24	赤岡山古墳群　5号墳	大野原町中姫赤岡87－9	古墳	古墳	後期？	詳細不明　横穴式石室？　大西神社境内	不詳
25	赤岡山古墳群　6号墳	大野原町中姫赤岡87－9	古墳	古墳	後期？	詳細不明　横穴式石室？　大西神社境内	不詳
26	赤岡山古墳群　7号墳	大野原町中姫赤岡85－3	古墳	古墳	後期？	詳細不明　横穴式石室？　開墾済	不詳
27	赤岡山古墳群　8号墳	大野原町中姫赤岡87－10	古墳	古墳	後期？	詳細不明　横穴式石室？　開墾済	不詳
28	赤岡山古墳群　9号墳	大野原町中姫赤岡87－4	古墳	古墳	後期？	詳細不明　横穴式石室？　開墾済	不詳
29	赤岡山古墳群　10号墳	大野原町中姫赤岡87－4	古墳	古墳	後期？	詳細不明　横穴式石室？　開墾済	不詳
30	赤岡山古墳群　11号墳	大野原町中姫赤岡87－4	古墳	古墳	後期？	詳細不明　横穴式石室？　開墾済	不詳
31	赤岡山古墳群　12号墳	大野原町中姫赤岡89－6	古墳	古墳	後期？	詳細不明　横穴式石室？　開墾済	不詳
32	赤岡山古墳群　13号墳	大野原町中姫赤岡85－3	古墳	古墳	後期？	詳細不明　横穴式石室？　開墾済	不詳
33	宗像(そうぞう)古墳	大野原町中姫691(小字小坪)	古墳	古墳	後期	墳形不明　横穴式石室(N45°Wに開口) 石室全長約5. 5m　玄室長約3. 5m　玄室最大幅約1. 7m	現存しない
34	小森塚1号古墳	大野原町中姫2244(小字半田原)	古墳	古墳	後期	墳形不明　横穴式石室(左片袖)　(N74°Wに開口) 石室全長4. 92m　玄室長3. 1m　玄室幅1. 4m	現存しない
35	小森塚2号古墳	大野原町中姫2244(小字半田原)	古墳	古墳	後期	墳形不明　石室主軸N64°W 石室全長1. 66m　石室幅約0. 45m	現存しない
36	小森塚3号古墳	大野原町中姫2244(小字半田原)	古墳	古墳	後期	墳形不明　横穴式石室(左片袖)　(N21°Eに開口) 石室全長5. 22m　玄室長3. 4m　玄室幅1. 5m	現存しない
37	小森塚古墳群　4号墳	大野原町中姫2244(小字半田原)	古墳	古墳	後期	墳形不明　石室主軸N77°W 石室全長1. 6m　石室幅約0. 4m	現存しない
38	小森塚古墳群　5号壺棺	大野原町中姫2244(小字半田原)	古墳	古墳	後期	須恵器壺(胴幅0. 455m、高さ0. 465m)	現存しない
39	道下1号古墳	大野原町中姫2213(小字道下)	古墳	古墳	後期	墳形不明　横穴式石室(S2°Wに開口) 石室全長3. 9m　玄室長1. 62～1. 72m　玄室奥壁幅1. 28m	現存しない

出土遺物	遺物保管場所	調査年度	報告書	参考文献・備考等
一字一石	不明			
不明				「大野原町誌」S31.8.15 大野原町 「香川縣三豊郡史」S48.4.11 三豊郡役所 「増補 西讃府志」S4.11.3 舊丸亀藩京極家
	観音寺市(大野原中央集会場)	S48.5.5	S49.3.31	「小森塚古墳群調査報告 附 宗像古墳 その他」 (香川県三豊郡大野原町教育委員会) 「香川縣三豊郡史」S48.4.11 三豊郡役所 「増補 西讃府志」S4.11.3 舊丸亀藩京極家
須恵器片(表採)	観音寺市			「増補 西讃府志」S4.11.3 舊丸亀藩京極家 「香川縣三豊郡史」S48.4.11 三豊郡役所
不明				
不明				
須恵器(蓋杯・甕破片等)、鉄鏃、石臼等	不明			「大野原町誌」S31.8.15 大野原町
須恵器、鉄釘?		H19.2.19～H19.8.31 (石室実測) (墳丘測量)		「新修 大野原町誌」H17.2.27 大野原町 「香川県文化財年報」H20.2.29 香川県教育委員会 「香川の文化財」H8.3 編集 香川県教育委員会 発行 香川県文化財保護協会 「文化財協会報 第2号」H20.3.1 観音寺市文化財保護協会 「大野原町誌」S31.8.15 大野原町 「香川縣三豊郡史」S48.4.11 三豊郡役所 「復刻版 史蹟名勝天然紀念物調査報告 下巻」S50.2.10 香川県など 「新編 香川叢書 考古編」S58.3.31 香川県教育委員会 「全国古墳編年集成」1997.6.25 石野博信編 「香川の文化財」H8.3 香川県教育委員会編 「大野原町の文化財」S59.3.10 大野原町 「増補 西讃府志」S4.11.3 舊丸亀藩京極家
須恵器(高杯蓋、杯蓋、杯身、壺) 一字一石経		H14.11.29～H15.2.16		「新修 大野原町誌」H17.2.27 大野原町 「岩倉塚古墳発掘調査現地説明会資料」H15.2.9 大野原町教育委員会 「復刻版 史蹟名勝天然紀念物調査報告 下巻」S50.2.10 香川県など 「大野原町誌」S31.8.15 大野原町
須恵器		H15年度墳丘測量 H19.12.17～H20.3.? (石室実測)		「新修 大野原町誌」H17.2.27 大野原町 「香川の文化財」H8.3 編集 香川県教育委員会 発行 香川県文化財保護協会 「大野原町誌」S31.8.15 大野原町 「増補 西讃府志」S4.11.3 舊丸亀藩京極家 「さぬきの遺跡」S47.9.1 高橋邦彦ほか 「復刻版 史蹟名勝天然紀念物調査報告 下巻」S50.2.10 香川県など 「新編 香川叢書 考古編」S58.3.31 香川県教育委員会 「全国古墳編年集成」1997.6.25 石野博信編 「香川の文化財」H8.3 香川県教育委員会編 「大野原町の文化財」S59.3.10 大野原町 「香川縣三豊郡史」S48.4.11 三豊郡役所
須恵器(提瓶あるいは平瓶)		H5年度確認調査	1995.3	「新修 大野原町誌」H17.2.27 大野原町 「角塚一大野原中央公園造成工事に伴う確認調査概要報告一」1995.3 (大野原町教育委員会) 「大野原町誌」S31.8.15 大野原町 「増補 西讃府志」S4.11.3 舊丸亀藩京極家 「さぬきの遺跡」S47.9.1 高橋邦彦ほか 「復刻版 史蹟名勝天然紀念物調査報告 下巻」S50.2.10 香川県など 「新編 香川叢書 考古編」S58.3.31 香川県教育委員会 「全国古墳編年集成」1997.6.25 石野博信編 「香川の文化財」H8.3 香川県教育委員会編 「大野原町の文化財」S59.3.10 大野原町 「香川縣三豊郡史」S48.4.11 三豊郡役所
				「大野原町誌」S31.8.15 大野原町
				「大野原町誌」S31.8.15 大野原町 「復刻版 史蹟名勝天然紀念物調査報告 下巻」S50.2.10 香川県など
			S49.3.31	「小森塚古墳群調査報告 附 宗像古墳 その他」 (香川県三豊郡大野原町教育委員会)
				「増補 西讃府志」S4.11.3 舊丸亀藩京極家 「香川縣三豊郡史」S48.4.11 三豊郡役所
				「増補 西讃府志」S4.11.3 舊丸亀藩京極家
				「大野原町誌」S31.8.15 大野原町
				「大野原町誌」S31.8.15 大野原町
				「埋蔵文化財分布調査報告書」ー自動車道建設に伴うー 1972.3 香川県教育委員会
				「埋蔵文化財分布調査報告書」ー自動車道建設に伴うー 1972.3 香川県教育委員会
				「埋蔵文化財分布調査報告書」ー自動車道建設に伴うー 1972.3 香川県教育委員会
須恵器、土師器	観音寺市(大野原中央集会場)			「新修 大野原町誌」H17.2.27 大野原町
須恵器	個人所有有			「香川考古 第3号」1994.12 香川考古刊行会
銅鏡(変形神獣鏡)?1、管玉、丹塊		S25.4.22地元中学生 により石室確認		「大野原町誌」S31.8.15 大野原町 「新編 香川叢書 考古編」S58.3.31 香川県教育委員会
須恵器				「香川の文化財」H8.3 香川県教育委員会編
須恵器				「大野原町の文化財」S59.3.10 大野原町
須恵器				
須恵器、勾玉、金環、管玉、棗玉				
銅剣、丹、鉄刀、臼玉				
須恵器				
須恵器				
須恵器(短頸壺1、細頸瓶1、平瓶1、高杯3、杯5、蓋1) 銀環1、鉄製大刀片、ヤリガンナ片	観音寺市(大野原中央集会場)	S47.10～S48.4	S49.3.31	「小森塚古墳群調査報告 附 宗像古墳 その他」 (香川県三豊郡大野原町教育委員会)
須恵器(壺3、杯1、提瓶1、貨幣3、鉄鏃1)	観音寺市(大野原中央集会場)	S47.10～S48.4	S49.3.31	「新修 大野原町誌」H17.2.27 大野原町 「大野原町の文化財」S59.3.10 大野原町
須恵器(高杯1、はそう1) 玉類(勾玉1、管玉、ガラス小玉、なつめ玉等) 腕輪1 金属板1	観音寺市(大野原中央集会場)	S47.10～S48.4	S49.3.31	
須恵器(提瓶1、壺1、杯2) 玉類(勾玉3、ガラス製管玉、ガラス製小玉等) 鉄刀片、鉄鏃片、銀環(大)3・(小)3	観音寺市(大野原中央集会場)	S47.10～S48.4	S49.3.31	
		S47.10～S48.4	S49.3.31	
		S47.10～S48.4	S49.3.31	
須恵器(高杯1、杯1) 鉄器片1	観音寺市(大野原中央集会場)	S47.10～S48.4	S49.3.31	

40	道下2号古墳	大野原町中姫2211（小字道下）	古墳	古墳	後期？	詳細不明　横穴式石室？	現存しない
41	不二見城	大野原町中姫字山根・原田	城跡	不詳	不詳	曲輪？、堀、土塁？　標高60m　比高差15m 城主　大西覚右衛門秀実（「大野原30年の歩み」より）	一部現存
42	中姫遺跡	大野原町中姫字安井1807番地1	不詳	弥生	前期末	昭和31年県道拡幅工事の際に発見（地表より約40cm）	
43	青岡（安井）大寺 （紀伊廃寺）	大野原町中姫安井・紀伊青岡	寺院	奈良 平安	奈良 平安	詳細不明　頂懸（うなかけ）神社～安井菅原神社付近？ 頂懸神社境内に礎石と思われる石材がある 大正時代に近くで瓦窯（1806番地）が数基発見されている（大野原町誌）	詳細不明
44	立石古墳	大野原町中姫安井	古墳	古墳	不詳	詳細不明	現存しない
45	神田（じんでん）古墳	大野原町中姫安井	古墳	古墳	不詳	詳細不明	現存しない
46	菅原神社古墳（仮称：参考）	大野原町中姫安井	古墳	古墳	不詳	菅原神社境内、周囲との地割りや盛土等により古墳（前方後円墳）の可能性が考えられる。	現存
47	将賢塚	大野原町中姫東村	古墳	古墳	不詳	東西15m×南北12m×高さ2m、古墳の上に元禄から享和年間の墓碑が立つ？	現存
48	千手院経塚	大野原町萩原高尾323	経塚	不詳	不詳	千手院本堂裏、明治20年開墾中に発見	
49	岡の宮古墳群	大野原町萩原	古墳	古墳	不詳	井上宗像神社周辺？	不詳
50	王塚	大野原町萩原大塚1570	古墳	古墳	後期？	現状墓地　大正初期に一部破壊　横穴式石室？　東西25m、南北21m 周囲の周囲の土地区画により前方後円墳の可能性	現存
51	西の後1号古墳	大野原町萩原1603（小字西の後）	古墳	古墳	後期	墳形不明　横穴式石室（S25°Wに開口） 石室全長不明　玄室長約3．0m　玄室奥壁幅1．85m	現存しない
52	西の後2号古墳	大野原町萩原1693（小字西の後）	古墳	古墳	後期？	墳形不明　石室不明	現存しない
53	政所跡	大野原町萩原	不詳	室町		嘉吉3年（1443）6月19日付地蔵院文書によると、 政所が地蔵院に替え地されたことが知られる。	不詳
54	中上頂上古墳	大野原町福田原字福田原	古墳	古墳	不詳	詳細不明	不詳
97	福田原頂懸神社古墳（仮称：参考	大野原町福田原	古墳	古墳	不詳	詳細不明	現存
55	福田原古墳	大野原町福田原	古墳	古墳	不詳	詳細不明	不詳
56	竜王山古墳	大野原町福田原字宮前	古墳	古墳	不詳	詳細不明（約30年前には石室が確認できたが、現在は破壊された可能性がある。）	不詳
57	縁塚古墳群　1号墳	大野原町丸井縁塚、福田原	古墳	古墳	後期	円墳直径16m　横穴式石室（両袖式）（WSW方向に開口） 玄室長3．62m　玄室奥壁幅2．04m　排水溝有	現存しない
58	縁塚古墳群　2号墳		古墳	古墳	後期	円墳直径12m　横穴式石室（両袖式）（SSW方向に開口） 石室全長4．6m　玄室奥壁幅1．7m　排水溝有	現存しない
59	縁塚古墳群　3号墳		古墳	古墳	古墳	詳細不明	現存しない
60	縁塚古墳群　4号墳		古墳	古墳	古墳	円墳直径28m　横穴式石室（両袖式）（SSW方向に開口） 石室全長9．1m　玄室長6．2m　玄室奥壁幅2．8m　排水溝有	現存しない
61	縁塚古墳群　5号墳		古墳	古墳	後期	円墳（推定）直径約15m　横穴式石室（SW方向に開口） 玄室長3．6m　玄室最大幅1．8m　羨道長2．3m　羨道幅0．7～0．8m	現存しない
62	縁塚古墳群　6号墳		古墳	古墳	不詳	詳細不明	現存しない
63	縁塚古墳群　7号墳		古墳	古墳	後期	円墳直径16m　横穴式石室（W方向に開口）	現存しない
64	縁塚古墳群　8号墳		古墳	古墳	不詳	詳細不明	現存しない
65	縁塚古墳群　9号墳		古墳	古墳	不詳	詳細不明	現存しない
66	縁塚古墳群　10号墳		古墳	古墳	後期	円墳（推定）直径約15m　横穴式石室（両袖式）（S方向に開口） 石室全長3．05m　玄室奥壁幅1．9m　玄室最大幅2m	現存しない
67	縁塚古墳群　11号墳		古墳	古墳	後期	円墳（推定）直径約11m　横穴式石室（両袖式）（SW方向に開口） 玄室全長2．5m　玄室中央部幅1．8m　羨道長1．9m　羨道幅1m	現存しない
68	縁塚古墳群　12号墳		古墳	古墳	後期	円墳直径11m　横穴式石室（両袖式）（NNW方向に開口） 玄室長2．7m　玄室奥壁幅0．85m　排水溝有	現存しない
69	縁塚古墳群　13号墳		古墳	古墳	後期	詳細不明	現存しない
70	縁塚古墳群　14号墳		古墳	古墳	後期	横穴式石室（両袖式）（ESE方向に開口） 石室全長6m　玄室長4m　玄室奥壁幅1．4m　排水溝有	現存しない
71	縁塚古墳群　15号墳		古墳	古墳	後期	円墳直径7．5m	現存しない
72	雨之宮神社　1号墳 （雨之宮神社南古墳）	大野原町丸井	古墳	古墳	後期より遡る？	円墳（南北13．5m、東西13m）　竪穴系の石室（推定）	現存
94	雨之宮神社　2号墳 （雨之宮神社後方古墳）	大野原町丸井	古墳	古墳	後期？	円墳（直径10m程度）	現存 （一部破壊）
95	雨之宮神社　3号墳	大野原町丸井	古墳	古墳	後期	詳細不明	不詳
73	塩塚古墳	大野原町丸井	古墳	古墳	不詳	詳細不明	不詳
74	平岡遺跡群	大野原町丸井平岡		弥生 古墳 平安	中期後半 後期 平安	竪穴住居址12、掘建柱建物址56、溝状遺構3、柵状遺構1 横穴式石室5基、小竪穴式石室2基 土壙墓1	現存しない
75	平岡1号墳		古墳	古墳	後期 6c末・7c前半	円墳（直径20m）　横穴式石室 石室全長9．65m　玄室長4．55m　玄室奥壁幅2．1m	奥壁のみ移築
76	平岡2号墳		古墳	古墳	後期	円墳（直径約10m）　横穴式石室　ほぼS方向に開口（推定） 石室規模・形態不明	現存しない
77	平岡3号墳		古墳	古墳	後期 6c末・7c前半	円墳（直径約10m）　横穴式石室　S―7°―E方向に開口 石室全長約3．7m？　奥壁幅約1．5m	現存しない
78	平岡4号墳		古墳	古墳	後期 6c末～7c初	円墳（直径約10m）　横穴式石室　S―7°―E方向に開口 玄室長1．8m（推定）　玄室奥壁1．3m（推定）	現存しない
79	平岡5号墳		古墳	古墳	後期 7c前半	円墳 玄室長（現存）1．9m　玄室奥壁幅1．1m	現存しない
80	平岡6号墳		古墳	古墳	後期 7c前半	円墳（直径3．7m）　小竪穴式石室 石室長辺1．1m　石室短辺0．5m	現存しない
81	平岡7号墳		古墳	古墳	後期	小竪穴式石室（主軸S－16°―E） 石室長辺1．3m　石室短辺1．0m	現存しない
82	平岡城跡	大野原町丸井	城跡	不詳	不詳	詳細不明	現存しない
96	平岡古墳	大野原町丸井	古墳	古墳	不詳	詳細不明	一部現存？
83	丸井池之内遺跡	大野原町丸井	不詳	弥生	後期	詳細不明	不詳
84	一字一石宝塔	大野原町紀伊丸井南下			不詳	詳細不明　高さ約3．8m、圃場整備で移動している模様。幕末頃？	不詳
85	中関のにっこうさん	大野原町紀伊青岡			天正6年頃？	詳細不明　頂懸神社境内に移転	不詳
97	頂懸神社古墳（仮称：参考）	大野原町紀伊青岡	古墳	古墳	後期？	円墳？	現存
86	埴穴塚古墳	大野原町花稲東野田1277－4 大野原町花稲東野田1277－5	古墳	古墳	後期	方墳（約16．5×14．95m）　横穴式石室　NE方向に開口 玄室長3．8m　玄室幅1．4m	現存しない
87	野田古墳	大野原町花稲	古墳	古墳	後期？	詳細不明　S23開田整地中に発見	現存しない
88	カワラケ塚	大野原町花稲	不詳	不詳	不詳	詳細不明　野田古墳の近く　S10頃に破壊	現存しない
89	貝塚	大野原町花稲	貝塚	不詳	不詳	詳細不明　開墾され痕跡なし。畑の呼称「貝がら」。埴穴塚の北側	現存しない
90	花稲七寺跡	大野原町花稲	寺院跡	不詳	不詳	詳細不明　開墾され痕跡なし。地名に寺に関するものがある模様	現存しない
91	姫之村城跡	大野原町五郷有木	城跡	不詳	不詳	「姫之村城、有木村ト云山家谷ノ間ノ隠里ナリ」（讃陽古城記）	不詳

※1　一覧表中の番号は遺跡地図の番号と同じ。

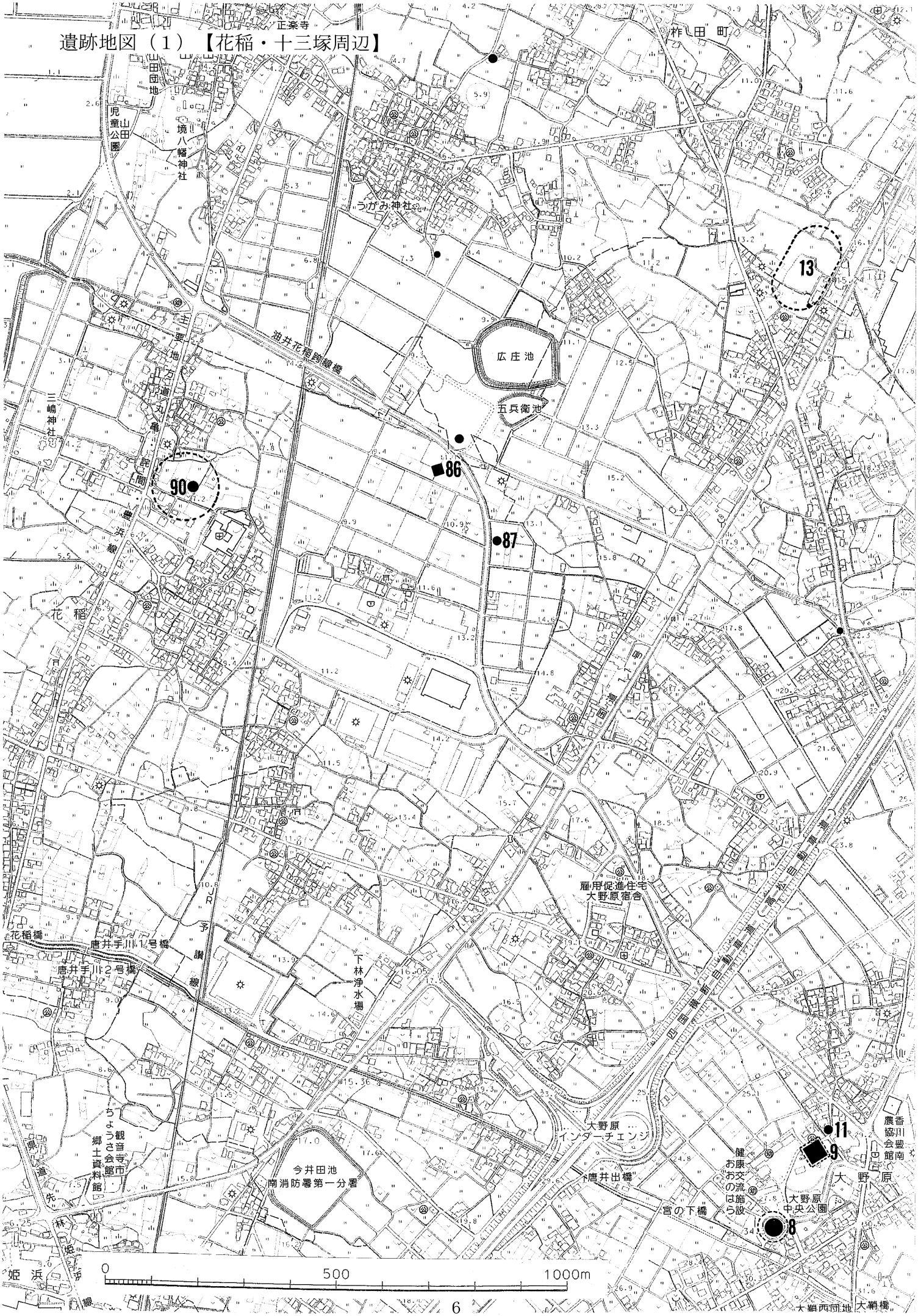
※2　一覧表中には、現地確認はできなかったものでも、文献等で確認できた遺跡についても掲載している。

※3　現存の有無等で「現存しない」「不詳」等と標記しているものの中で、発掘調査を実施していないものについては、地下に遺構が残存している可能性が残されているものがある。

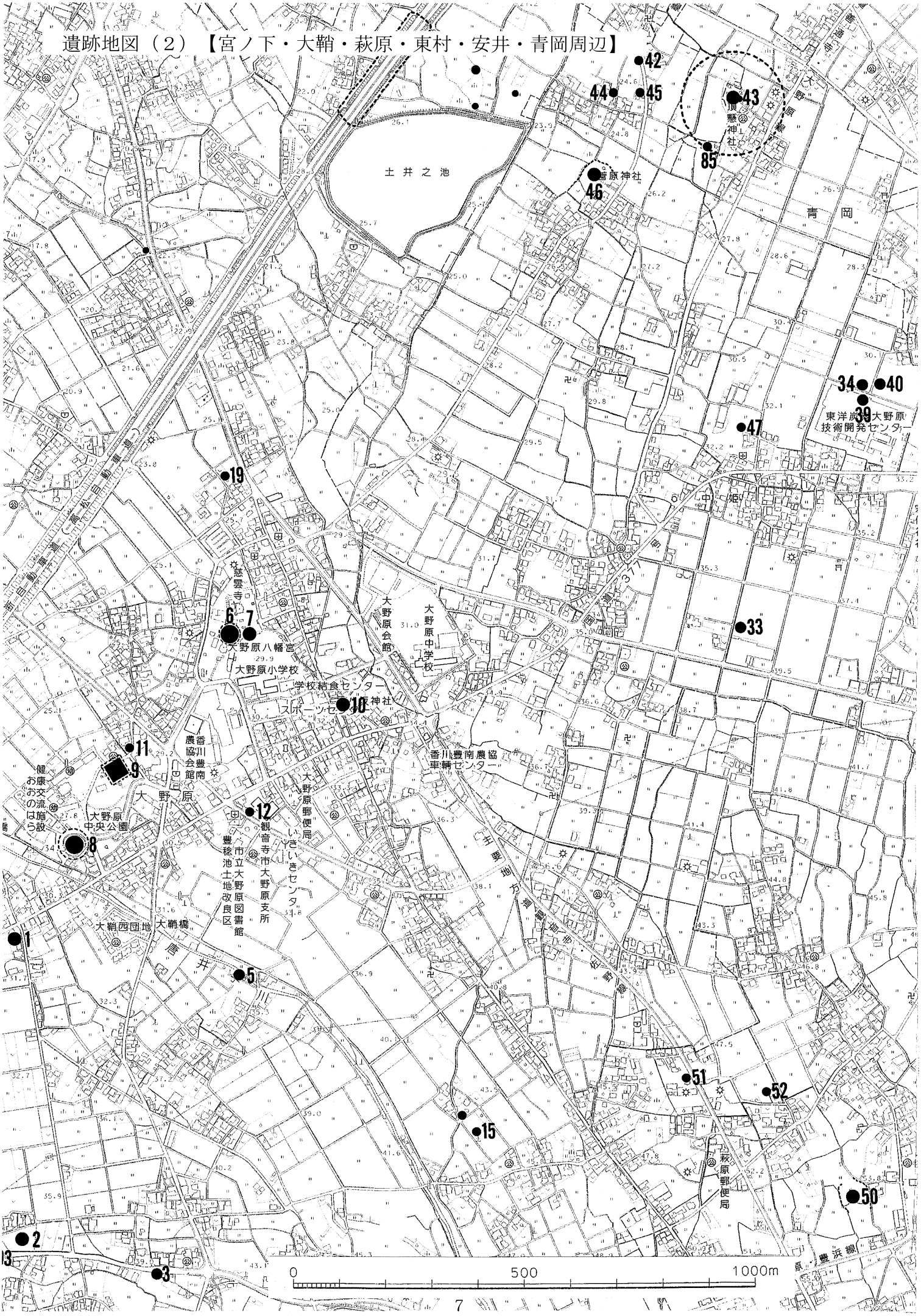
※4　これまで遺跡として取り扱われていなかったもので、現地確認等の結果でその可能性があるものについては、「参考」として掲載した。

須恵器があったと言われる			S49.3.31	
		H12踏査		「香川県中世城館跡詳細分布調査報告」H15.3 香川県教育委員会 「大野原町30年の歩み」
壺1	観音寺市(大野原中央集会場)			「新修 大野原町誌」H17.2.27 大野原町 「大野原町の文化財」S59.3.10 大野原町
八葉単弁蓮華文軒丸瓦、十二葉細素弁蓮華文軒丸瓦、六葉単弁蓮華文軒丸瓦 六葉素弁蓮華文軒丸瓦 須恵器 土師器 など 重圏文軒平瓦	鎌田共済会郷土博物館 個人所蔵有			「新修 大野原町誌」H17.2.27 大野原町 「第11回特別展 讃岐の古瓦展」H8.1 高松市歴史資料館 「大野原町の文化財」S59.3.10 大野原町 「大野原町誌」S31.8.15 大野原町
須恵器	不明			「大野原町誌」S31.8.15 大野原町
須恵器	不明			「大野原町誌」S31.8.15 大野原町
				「全国遺跡地図 香川県」S52.3.25 文化庁文化財保護部
経筒2(東博)、鏡6、青磁合子2	個人所有			「大野原町の文化財」S59.3.10 大野原町
耳環1	観音寺市(大野原中央集会場)			
腕輪2点	不明(萩原小学校?)			「全国遺跡地図 香川県」S52.3.25 文化庁文化財保護部
須恵器破片少量	観音寺市(大野原中央集会場)	S34.11.11	S49.3.31	「小森塚古墳群調査報告 附 宗像古墳 その他」 (香川県三豊郡大野原町教育委員会)
			S49.3.31	
				「香川県中世城館跡詳細分布調査報告」H15.3 香川県教育委員会
				「全国遺跡地図 香川県」S52.3.25 文化庁文化財保護部
				「全国遺跡地図 香川県」S52.3.25 文化庁文化財保護部
ガラス小玉等33 丸玉1 トンボ玉1 勾玉2 耳環5 鉄刀 鉄剣片2 刀子2 鉄鏃5 須恵器(短頸壺、ハソウ)	観音寺市(大野原中央集会場)	S61.1～S61.4	H4.3.31	「縁塚古墳群Ⅱ・Ⅲ」香川県大野原町丸井所在の群集墳の調査 (大野原町教育委員会)
鉄刀1 鉄鏃2 須恵器(甕、短頸壺、杯身、ハソウ)				
須恵器(椀、短頸壺)				
須恵器(短頸壺、壺)				
須恵器(有蓋壺蓋1、無蓋長脚高杯1) ガラス玉62、銅製空玉?1、紡錘車1 方形飾金具5、轡等、鉄鏃、刀子		S60.8.5～S60.11.3	H3.3.31 1991	「縁塚古墳群Ⅰ」香川県大野原町丸井所在の群集墳の調査 (大野原町教育委員会)
須恵器(短頸壺、杯蓋、台付長頸壺、甕等) ガラス小玉片4 鉄刀片2		S61.1～S61.4	H4.3.31	「縁塚古墳群Ⅱ・Ⅲ」香川県大野原町丸井所在の群集墳の調査 (大野原町教育委員会)
		S60.8.5～S60.11.3	H3.3.31 1991	「縁塚古墳群Ⅰ」香川県大野原町丸井所在の群集墳の調査 (大野原町教育委員会)
須恵器(杯蓋1、杯身3、壺1、提瓶2) 切子玉1、耳環1、珠文鏡1 鉄鏃8、鉄鎌1、鉄斧2		S60.8.5～S60.11.3	H3.3.31 1991	
耳環2 管玉1 ガラス小玉34 鉄鏃3 鉄錐1 鋲付飾金具2 鉄鎌 刀子 須恵器(短頸壺、杯蓋、杯身、高杯) 土師器 石器		S61.1～S61.4	H4.3.31	「縁塚古墳群Ⅱ・Ⅲ」香川県大野原町丸井所在の群集墳の調査 (大野原町教育委員会)
耳環2 鉸金具 飾金具 鉄鏃 鉄片 鉄器 土師器 須恵器(杯蓋3、高杯蓋9、高杯6、杯身3、鉢、ハソウ3、短頸壺、壺、提瓶等)				
須恵器(短頸壺、高杯蓋) 石鏃4 石包丁3				
須恵器(甕)片1		H12.9.18～H12.9.20 (試掘調査)		
不明				
須恵器片	観音寺市			
黒曜石製石鏃1	観音寺市(大野原中央集会場)	H1.12.15～H2.10.29	H4.9.1	「平岡遺跡群」(大野原町教育委員会) 「新修 大野原町誌」H17.2.27 大野原町
須恵器(高杯、広口壺、杯身、甕、ハソウ等) 鉄製品(刀子、鉄鏃、鎌) 耳環3、ガラス玉1 周溝から弥生土器、石鏃				
須恵器(短頸壺1、短頸壺蓋1、平瓶1) 鉄製品1(鎌?)				
須恵器(杯身4、杯蓋2、コップ形土器1、無蓋高杯1、甕1、広口壺1、ハソウ1等) 鉄製品1(鏃1?)				
須恵器(短頸壺蓋1、高杯1) 土師器(壺1、甕1) 鉄斧1				
須恵器(脚付壺1) 石鏃1				
須恵器(高台付杯1、平瓶1)				
				「全国遺跡地図 香川県」S52.3.25 文化庁文化財保護部
壺1	観音寺市(大野原中央集会場)			「新修 大野原町誌」H17.2.27 大野原町 「大野原町の文化財」S59.3.10 大野原町
				「全国遺跡地図 香川県」S52.3.25 文化庁文化財保護部
				「全国遺跡地図 香川県」S52.3.25 文化庁文化財保護部
須恵器片	観音寺市			
耳環2 須恵器(壺2、横瓮1、平瓶3、高杯3、杯蓋7、杯身7、鉢1、提瓶1、 台杯長頸壺1)	観音寺市(大野原中央集会場)	S62.8～S63.1	H1.5.1	「埴穴塚発掘調査報告書-団体営土地改良総合事業にかかる調査-」 (大野原町教育委員会) 「大野原町誌」S31.8.15 大野原町
須恵器				
				「全国遺跡地図 香川県」S52.3.25 文化庁文化財保護部
		H13踏査		「香川県中世城館跡詳細分布調査報告」H15.3 香川県教育委員会 「讃陽古城記」

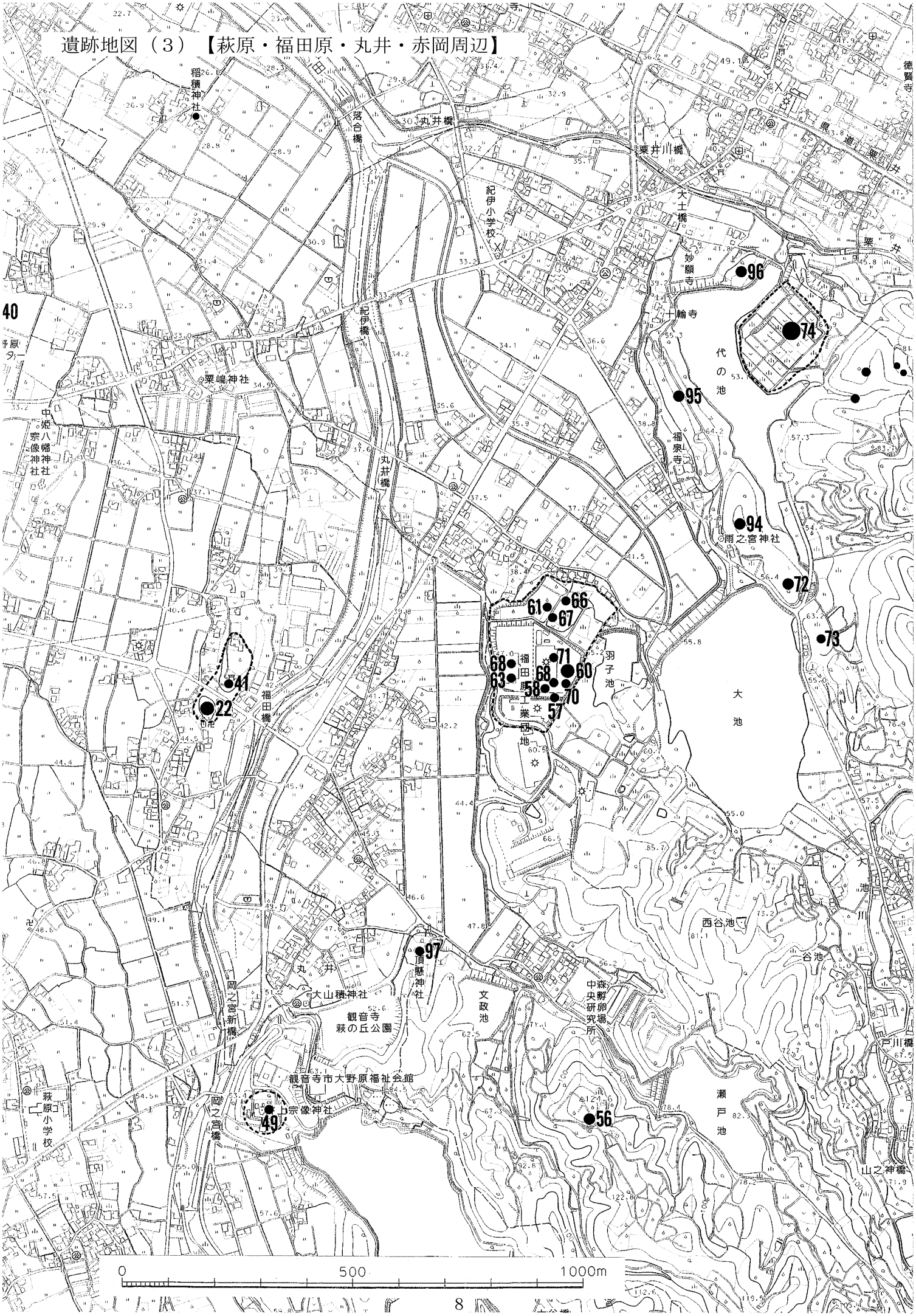
遺跡地図（1）【花稲・十三塚周辺】



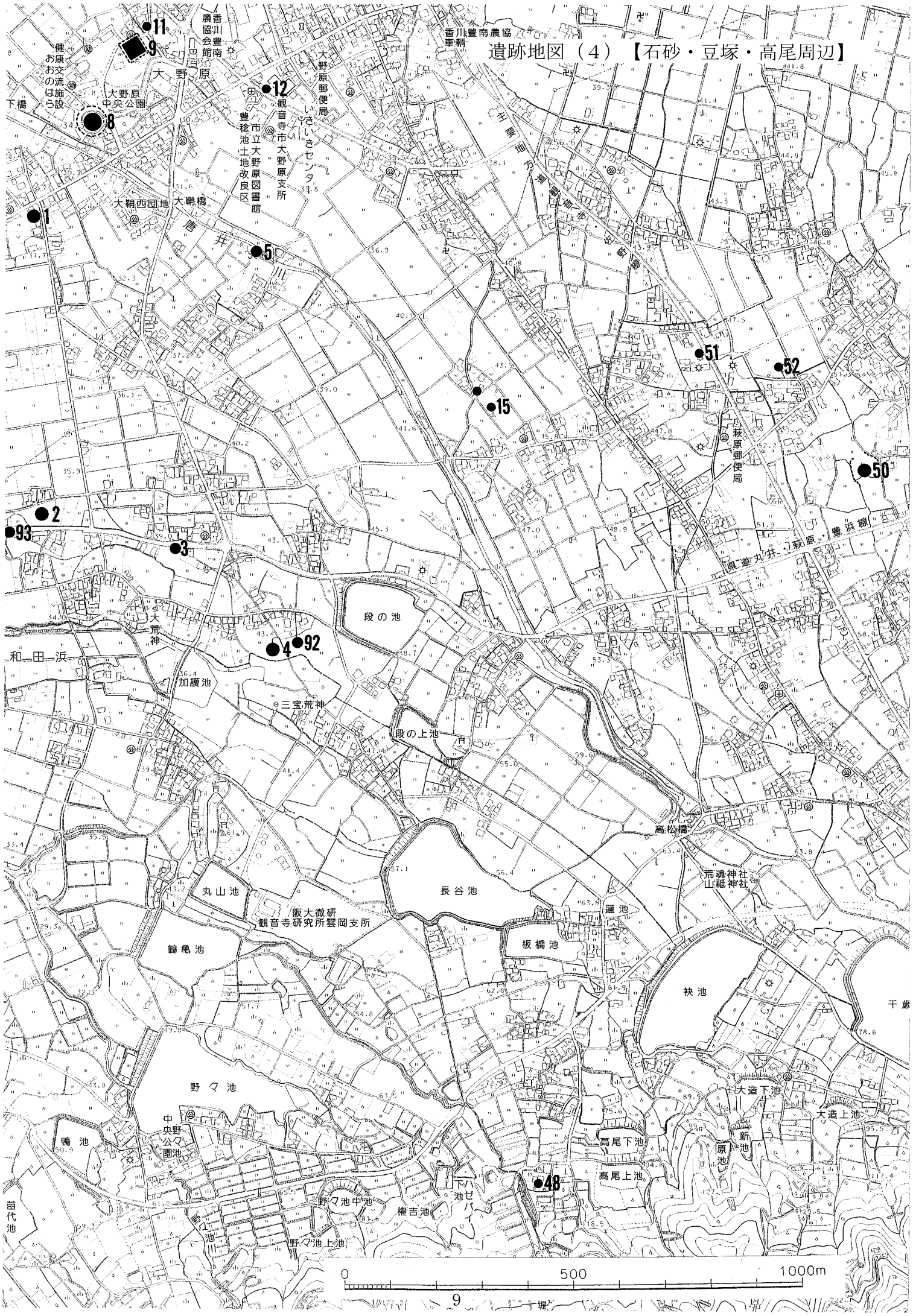
遺跡地図（2）【宮ノ下・大鞘・萩原・東村・安井・青岡周辺】



遺跡地図（3）【萩原・福田原・丸井・赤岡周辺】



遺跡地図（4）【石砂・豆塚・高尾周辺】



５．重点調査地区（椀貸塚古墳）の概要

大野原地区の分布調査の重点調査地区として椀貸塚周辺を対象とした。椀貸塚についてはこれまで県指定史跡に指定されているにもかかわらず遺跡の基礎的な資料が未整備であることや、大野原古墳群の中核をなす重要な遺跡であることから、遺跡の正確な現状把握の必要性があったことがその理由である。また、観音寺市教委では香川県指定史跡である椀貸塚、角塚及び平塚古墳の今後の保存と活用を図るため「香川県指定史跡椀貸塚、角塚及び平塚古墳保存・活用検討委員会」を平成１８年度から３ヵ年の予定で遺跡の長期的な保存と活用のための方策を検討していることもあり、香川県教委の現状変更許可をいただき石室実測と墳丘測量調査を行ったもので、本稿ではその一部を報告する。

石室実測の結果、複室構造とされている横穴式石室は後世の改変を受けていないと考えられる範囲の石室全長が 12.1m ある。石室開口部には石室内側に突出する前室入口の袖石があり、この部分の長さが 0.72m ある。次に現在前室とされている部分が 3.49m あり、その奥側には第２番目の袖石（玄門立柱）部分が 1.09m ある。最後に玄室長（後室）が 6.8m を測る。なお、石室開口部の墳丘が切り取られている部分に羨道の存在が考えられることから、築造当初はもう少し長い石室長であった可能性が高い。石室幅は、前室の袖石部分で 1.11m、前室最大幅 2.5m、玄門部分で 1.28m、玄室最大幅は 3.64m を測る。石室高は前室で 2.15m、玄室で 3.86m あるが、この計測値はいずれも現況であり、石室内への土砂の流入が開口部で 1m 以上あるものと推測されことから、実際の数値は床面検出の機会を待たなくてはならない。

平面形は、前室入口の袖石と玄門立柱石が石室内側に突出する構造で、玄室部分はその石室幅が奥壁で 3.45m、中央部で 3.58m、玄門側で 3.12m となっており、いわゆる胴張り状の平面形を呈する。

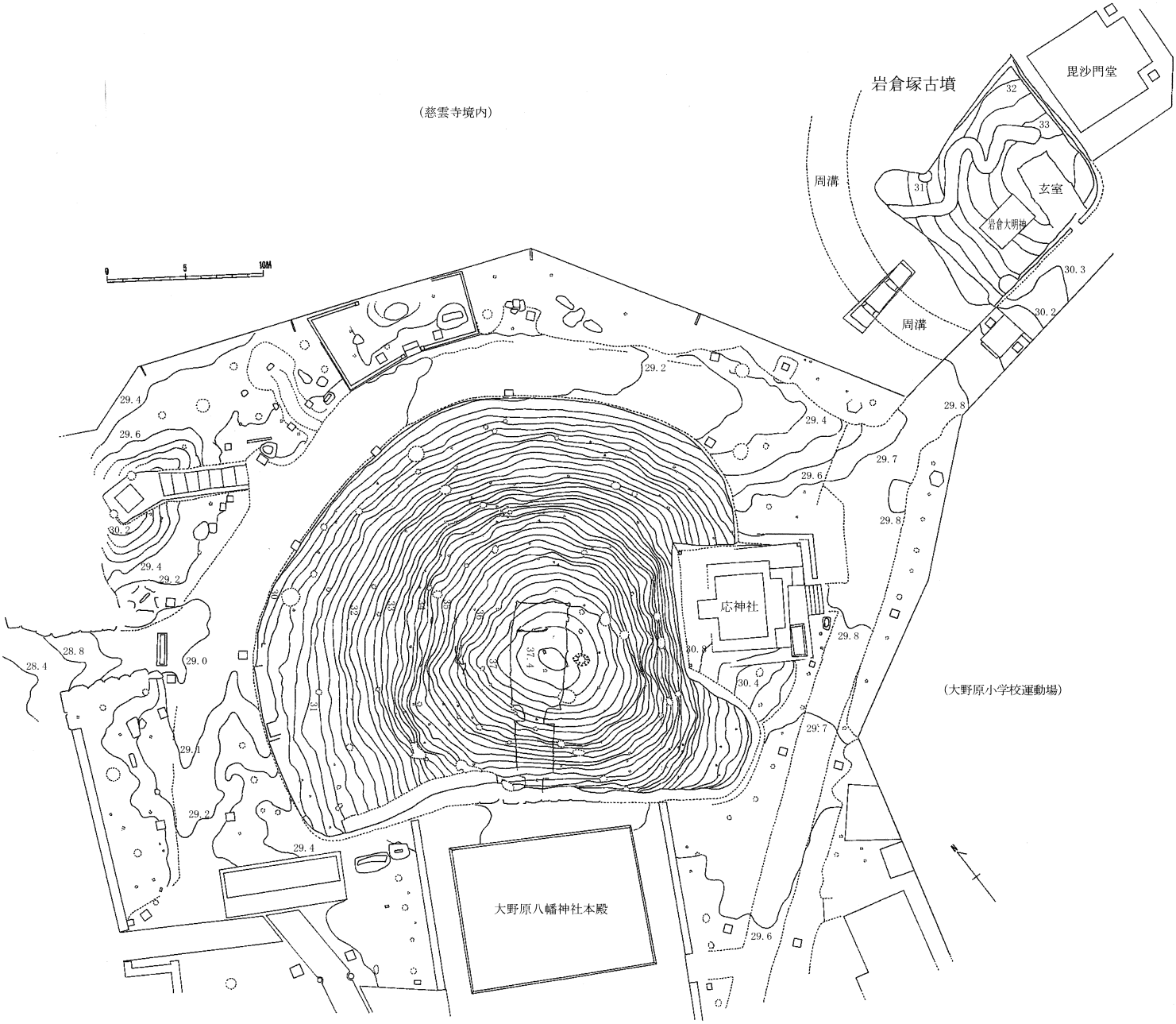
側壁は、持ち送り構造で概ね５段階の構築過程が観察できる。特に石材間の目地には粘土状の詰め土が石室各所で確認でき、石室構築当初の姿を比較的良好に残していると思われる。

石室に使用されている石材は砂岩である。天井石は前室で３石、玄室で４石ある。どちらの天井石もほぼ水平に架構されているが、玄門の楣（マグサ）石上部の玄室の１石は奥壁側に高く斜めに架構されている。また、前室と玄室の天井高を比較すると玄室側が 1.2m 以上高く構築されていることも本石室の特徴の一つである。

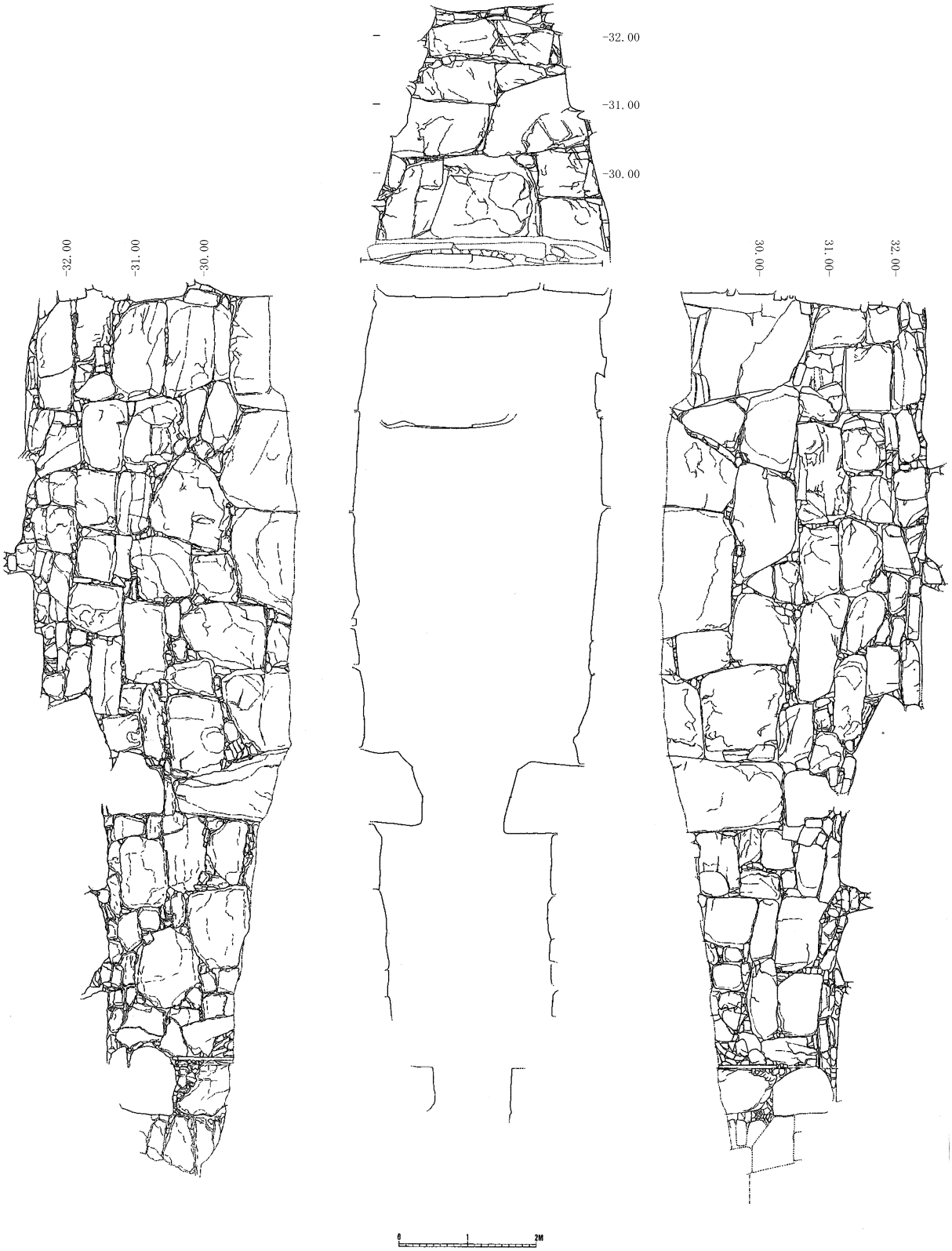
また、石室床面の奥壁から 1.9m のところに石室主軸に直交して長さ約 2m 超の石材が以前から確認されていた。これが棺台の一部ではないかと考えられてきた石材である。しかし、今回の調査に付随して昭和２８年の石室内の写真を確認することができ、それによると少し疑問な点があるのではないかと思われる。今後この石材の示す意味については課題を残している。

墳丘測量の結果は、現段階では直径約３６ｍ程度の円墳と推定できるが、今後の範囲確認の結果により墳形も含めて判断したい。また、現在の墳丘の頂上部の標高は 37.4m で周囲との比高差は約 8m ある。石室天井高（約 32.5m）との標高差が約 5m ある状態である。これほどの盛土が築造当初からされていたのであろうか。後世に何かの理由で二次的に盛土が行われた可能性を指摘しておきたい。

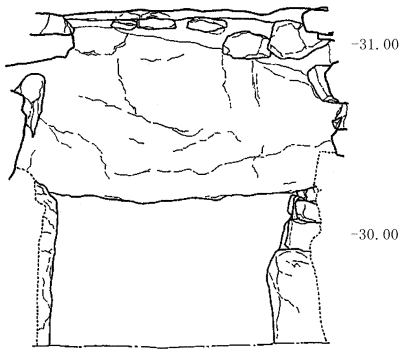
なお、現在の石室の状況は、左側壁中段の石材が抜け落ち転落している箇所や、同じく左側壁奥壁側の基底石が割れているなど一部その保存が危惧される箇所があり、平成９年度に支保工が石室全体に設置されているが、１０年経過した現在はその一部は早くも老朽化している。検討委員会ではこのような現状をふまえ、今後の保存方法と活用方策の議論を深めたい。



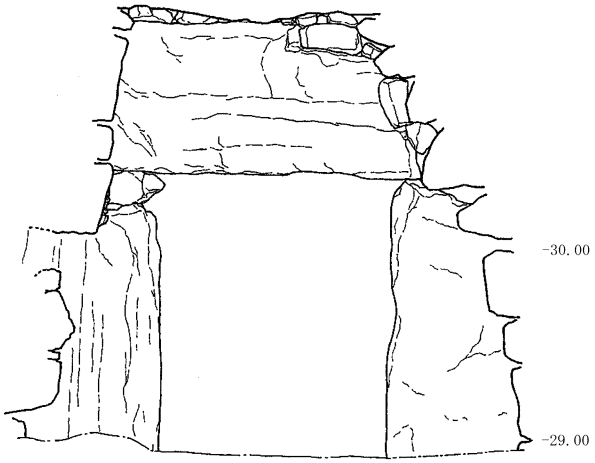
椀貸塚古墳墳丘測量図（S=1/400）



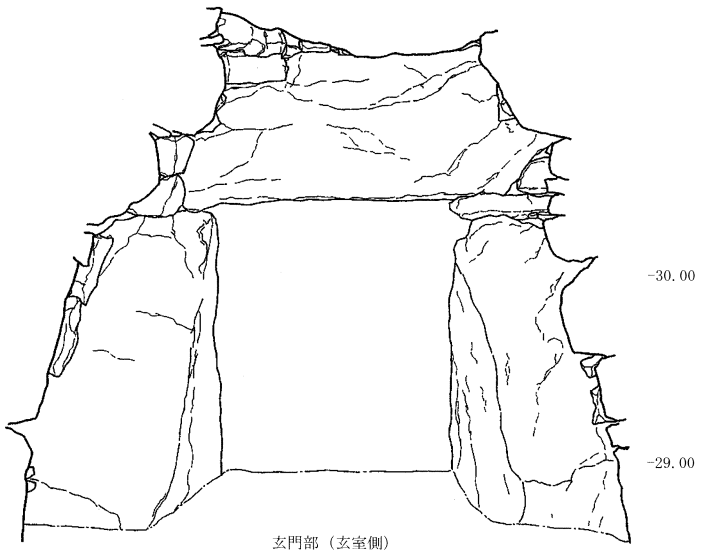
椀貸塚古墳石室実測図（1）



石室開口部（前室側）

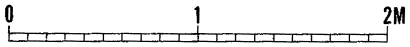


玄門部（前室側）



玄門部（玄室側）

椀貸塚古墳石室実測図（２）



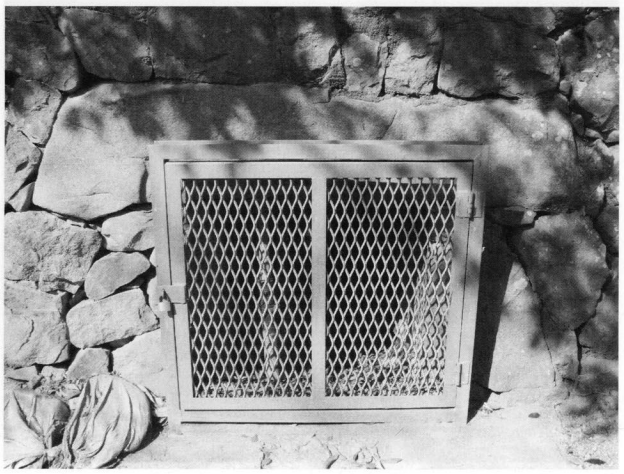
８．調査地区内の遺跡写真

写真目次

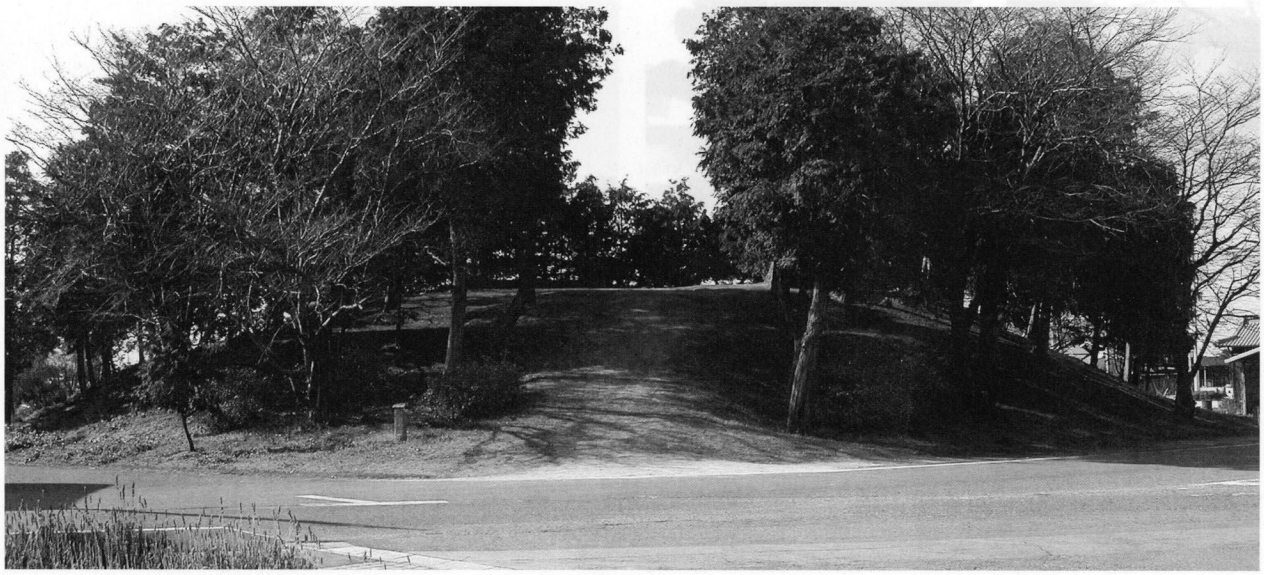
１．椀貸塚古墳墳丘
２．椀貸塚古墳石室開口部（大野原八幡神社本殿裏）
３．岩倉塚古墳石室開口部
４．平塚古墳墳丘
５．平塚古墳石室開口部
６．角塚古墳石室開口部
７．角塚古墳石室内部
８．観音堂古墳
９．四角塚古墳
１０．赤岡山古墳遠景
１１．頂懸神社（青岡（安井）大寺）遠景
１２．頂懸神社境内に所在する石材
１３．菅原神社古墳（仮称）
１４．将賢塚
１５．王塚
１６．竜王山古墳

1．椀貸塚古墳墳丘

2．椀貸塚古墳石室開口部



3．岩倉塚古墳石室開口部



4．平塚古墳墳丘

5．平塚古墳石室開口部

6．角塚古墳石室開口部

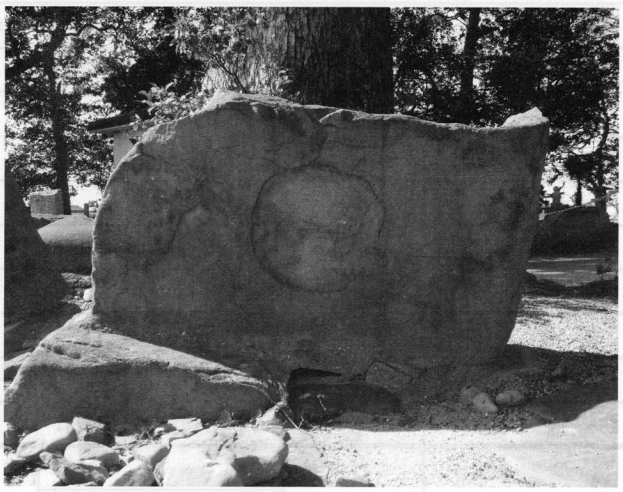
7．角塚古墳石室内部

8．観音堂古墳

9．四角塚古墳

１０．赤岡山古墳遠景

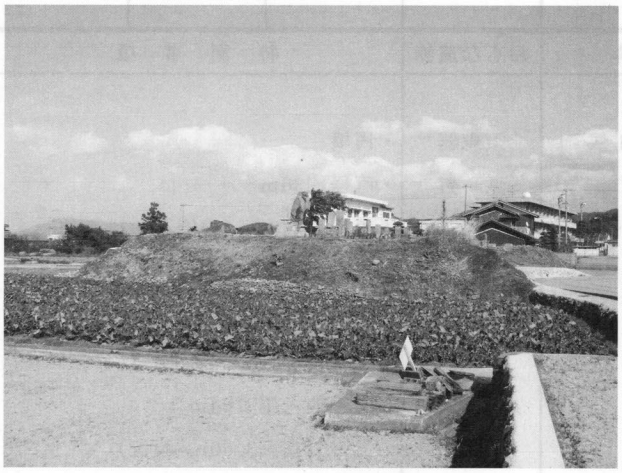
１１．頂懸神社遠景



１２．頂懸神社境内に所在する石材

１３．菅原神社古墳(仮称)

１４．将賢塚



１５．王塚

１６．竜王山古墳

報告書抄録

ふりがな	かおんじしないいせきしょうさいぶんぷちょうさほうこくしょ
書名	観音寺市内遺跡詳細分布調査報告書
副書名	－大野原町編－
巻次	
シリーズ名	
シリーズ番号	
編著者名	久保田昇三
編集機関	観音寺市教育委員会
所在地	〒768-8601　香川県観音寺市坂本町一丁目1番1号　TEL 0875-23-3943
発行年月日	西暦2008年（平成20年）3月31日

ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯 °′″	東経 °′″	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
わんかしづかこふん 椀貸塚古墳	かがわけん 香川県 かんおんじし 観音寺市 おおのはらちょう 大野原町 おおのはら 大野原 1913番地1	37205		34度 05分 16秒 (WGS84系)	133度 39分 48秒 (WGS84系)	20070219 ～ 20070831	7,585 (地番面積)	観音寺市 埋蔵文化財 調査事業

所収遺跡名	種別	おもな時代	おもな遺構	おもな遺物	特記事項
椀貸塚古墳	古墳	古墳	古墳　1基	須恵器 鉄釘 等	・円墳 ・直径約36m ・墳丘高約8m（周囲との比高差） ・横穴式石室（複室構造） ・石室全長（現存長）12.1m ・玄室長6.8m ・玄室最大幅3.64m ・玄室石室高3.86m（現況） ・周溝有

観音寺市内遺跡詳細分布調査報告書
— 大 野 原 町 編 —

2008（平成20）年3月31日発行

編集・発行　観音寺市教育委員会
〒７６８－８６０１
香川県観音寺市坂本町一丁目１番１号
TEL（０８７５）２３－３９４３
FAX（０８７５）２３－３９６５
印　　刷　有限会社　中山印刷所